

■ 官民データ活用共通プラットフォームと民間各社サービスの接続実証

・実証の目的と概要

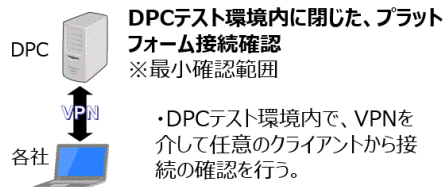
官民データ活用共通プラットフォームと、民間各社の様々なプラットフォームとの接続連携の実証を行い、実証活動を通じてプラットフォーム利活用における課題の整理を推進することで、官民データ活用共通プラットフォームの利活用促進によるSociety5.0社会の実現に貢献する。

接続実証では、DPCが用意したプラットフォーム接続実証用のテスト環境と各社のプラットフォームサービス等を、官民データ活用共通プラットフォームにおける共通インターフェース「OMA NGSI」を介して接続し、データの送受信が行えることを確認する。

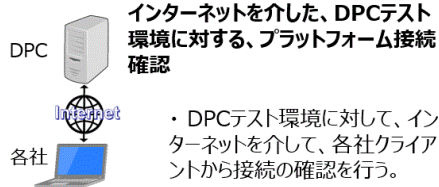
・実証範囲の考え方

プラットフォーム接続実証において、最小範囲として確認すべき事項と、将来実現することによって、プラットフォーム間接続のアドバンスな目標として4パターンの実証範囲を定義する。

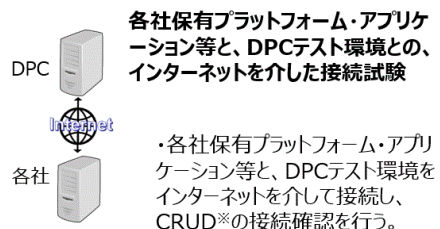
実施範囲A



実施範囲B



実施範囲C



※CRUD: Create Read Update Delete

実施範囲D

